学校番号	1009

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校で体得した書写能力を基礎として、日常生活における実用的な書写に関する活動にも注意・関心を持ち書写技能の向上を図ります。
・教科書の他、様々な機器の活用により鑑賞の機会を多くし、地域の文化財や人材、美術館等の活用により、生涯を通じて書に対する幅広い興味・関心を持てるように鑑賞しましょう。
・毎回の授業目標を明確化し、各単元・授業作品・レポート提出で行います。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書が身近なものであることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさや表現を感取し、感性を働かせながら、主体的に表現を工夫している。	創造的な諸表現をするために、基礎的な能力を生かし、また使用する用具用材の特性を理解し活用できるよう様々な表現技術の習得をめざす。	日常の書や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを書の表現意図を、創造的に味わって鑑賞する態度を育む。
評価方法	作品 レポート	作品 レポート	作品	鑑賞レポート ワークシート 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	書写から書道へ	「書写」と「書道」との関連と相違について 毛筆の特性と線の表情について 用具・用材について	○			○	a:基本的な用具・用材に関する知識や扱いを理解しようとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d: 創造的な書表現をするために、用具・用材と表現効果が関係していることを理解している。	観察 レポート 作品
5・6・7月	漢字の書(楷書)	①「孔子廟堂碑」 ②「九成宮醴泉銘」 ③「雁塔聖教序」 ④「顔氏家廟碑」 ⑤「北魏の書」 批評会	○	○	○	○	a:自らの感性や意図に基づいて、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。 b: 字形や用筆の違いにより生じる文字の雰囲気の違いを考えて臨書する。 c:古典の違いを表現する方法を高めるために、姿勢・執筆法などの基本的事項を身に付け表現している。 d:楷書のよさや多彩な美を感じ書風の違いについて理解している。	観察 作品 レポート 発表
8月	課題・硬筆	楷書硬筆プリント	○		○		a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、主体的に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c: 均整のとれた文字構成を覚え表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解している。	作品

9月	漢字の書(行書)	①「蘭亭序」 ②「風信帖」 ③和様の書 ④篆・隷書	○	○	○	○	a: 行書の特徴を理解し、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。 b: 古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。 c:各古典の字形や用筆の特徴を捉え書風を生かした方法を身に付け表現している。 d:行書の基本点画、筆脈を呼吸法の観点から理解している。	観察 作品 レポート
10月	篆刻	篆書を用いて姓名印を制作する。	○	○	○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻の種類を理解し、表現を工夫している。 c: 印稿づくりを活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付ける。 d:篆刻の意義や手順について理解している。	観察 作品 レポート
11月・12月	仮名の書	① 仮名の基本的な筆使い ② 変体仮名の学習 ③ 連綿の学習 ④ 高野切第三種 ⑤ 散らし書きの学習 ⑥ 色紙創作	○	○	○	○	a:仮名の発生から成立、現在の平仮名、片仮名について理解しようとしている。 b: 全体構成にも目を向け、空間を生かした作品づくりを工夫している。 c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆を理解し創造的な表現をすることができる。 d:連綿の美しさと散らし書きについて理解している。	観察 作品 レポート

1 ・ 2 ・ 3 月	漢字仮名交じりの書	表現の工夫 構成について 表装･パネル作品 鑑賞会	○	○		○	a:漢字仮名交じりの書の創造的な活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。 b:運筆のリズム、線質、墨の濃淡、墨の潤滑、筆圧、文字の大小、用紙の工夫、全体構成などを工夫して自分の言葉のイメージを表現させようとしている。 c:漢字の書と仮名の書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを理解し、創造的に味わっている。	観察 作品 鑑賞レポート ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。